



平成30年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年10月13日

上場会社名 株式会社東京衡機 上場取引所 東  
 コード番号 7719 URL http://www.tksnet.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 石川 隆一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長 (氏名) 石見 紀生 (TEL) 03-5207-6760  
 四半期報告書提出予定日 平成29年10月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第2四半期の連結業績 (平成29年3月1日～平成29年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第2四半期	2,084	△20.8	△254	—	△279	—	△68	—
29年2月期第2四半期	2,631	12.4	148	—	129	—	97	△43.5

(注) 包括利益 30年2月期第2四半期 △199百万円(—%) 29年2月期第2四半期 12百万円(△92.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第2四半期	△0.96	—
29年2月期第2四半期	1.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第2四半期	4,105	1,226	29.9
29年2月期	4,586	1,426	31.1

(参考) 自己資本 30年2月期第2四半期 1,225百万円 29年2月期 1,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	—	—	0.00	0.00
30年2月期	—	—	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想 (平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	2.2	△20	—	△40	—	130	—	1.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社東京衡機エンジニアリング、除外 1社(社名) 瀋陽特可思木芸製品有限公司

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年2月期2Q	71,337,916株	29年2月期	71,337,916株
30年2月期2Q	26,846株	29年2月期	26,742株
30年2月期2Q	71,311,087株	29年2月期2Q	71,311,656株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	12
(重要な後発事象) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年3月1日～平成29年8月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、個人消費が緩やかに持ち直すとともに、企業収益および企業の業況判断も改善し、生産、輸出および設備投資は堅調に回復し、実質GDP成長率の伸びは前年度を上回る見込みで推移いたしました。一方、世界経済は、緩やかな景気回復が見られるものの、米国トランプ政権の今後の政策の動向やその影響、中国における不動産バブルや企業の過剰債務問題、北朝鮮の核開発を巡る緊迫した政治情勢、英国のEU離脱問題などにより不確実性は高まっており、先行き不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループは平成29年3月1日付で、当社のエンジニアリング事業を簡易新設分割により新設会社の(株)東京衡機エンジニアリングに承継させ、実質的な持株会社体制へ移行いたしました。これにより、当社は、グループの各事業に係る責任と権限を明確にし、グループ経営の意思決定の迅速化を図りました。

試験機事業では試験機・計測機器の開発・設計・生産からメンテナンス・校正・受託試験サービスまで、高度な技術と長年の実績に裏付けられたワンストップソリューションで、自動車、鉄道、産業機器等のメーカーや各種研究機関、学校、官公庁など幅広いユーザーに製品・サービスを提供しました。

エンジニアリング事業では、ゆるみ止め製品(ナット・スプリング)の電力業界、道路業界、鉄道業界、建設業界等のインフラマーケットでの市場シェア拡大を図るとともに、一般消費者向けの生活関連製品の販売拡大に努めてまいりました。

海外事業では、中国子会社において、中国国内のほか日本や欧米向けにオフィス家具部品や家電部品、自動車部品等のプラスチック成型品の製造販売の維持拡大に注力するとともに、生産管理体制の再構築や品質管理体制の強化、顧客への納期の厳守、5S活動の徹底など、生産性向上のための抜本改革を実施いたしました。また、オフィス家具部門および自動車部品部門の低迷、元役職員の不正問題への対応等により苦戦いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,084,063千円(前年同期比20.8%減)、経常損失279,118千円(前年同期は129,437千円の経常利益)となりました。また、子会社の瀋陽特可思木芸製品有限公司(当社の100%子会社である無錫三和塑料製品有限公司の100%子会社)の出資持分譲渡に係る出資持分譲渡益を特別利益に計上するとともに、無錫三和塑料製品有限公司の元役職員の不正問題に対する調査費用を特別損失に計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純損失は68,449千円(前年同期は97,852千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①試験機事業

試験機事業では、試験機の標準図面の整備等を進め原価低減の基盤を作るとともに、各社で連携して定期的な需要が見込まれる修理・メンテナンスの受注・売上の拡大に努めました。また、製品別・顧客別の営業体制の整備を行い、受注確度の向上や販売活動の活性化に取り組みました。その結果、受注面に関しては前年同期を上回るなど堅調に推移し、今期の下半期および来期の売上見込みの確保に貢献しましたが、売上面に関しては当第2四半期連結累計期間における対象案件の不足等により、売上高および営業利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、試験機事業の売上高は1,218,687千円(前年同期比18.5%減)、営業利益95,899千円(前年同期比65.1%減)となりました。

#### ②エンジニアリング事業

エンジニアリング事業では、高速道路関係や電力関係等のインフラ設置や公共事業関連施設を対象にゆるみ止めナットおよびスプリングの販売体制を強化することで、安定的な売上・受注確保に努めました。また、訪日客をターゲットとした量販店向け商品(ステンレスボトルおよび軽量スーツケース)の販売拡大に努めるとともに、下半期以降の売上拡大の基盤を作るために当該商品のモデル変更を進めました。しかしながら、ゆるみ止めナットの販売の伸び悩みやインバウンド需要の低迷による量販店向け商品の売上減少等により、売上高および営業利益は前年同期を下回りました。

以上の結果、エンジニアリング事業の売上高は217,017千円(前年同期比10.0%減)、営業利益は39,505千円(前年同期比4.8%減)となりました。

## ③海外事業

海外事業では、オフィス家具部品や家電部品、自動車関連部品等のプラスチック成型品の製造販売拡充を図りましたが、欧米向けのオフィス家具の需要変動による部品の受注・売上への伸び悩み等により、売上高および営業利益は前年同期を下回りました。なお、無錫三和塑料製品有限公司においては、元役職員の不正問題発覚以降、事業の建直しに注力しており、マネジメント体制を抜本的に見直しております。これにより5S活動の定着や製品の原価低減など、一部で改善の効果が見られております。

以上の結果、海外事業の売上高は716,080千円（前年同期比27.0%減）、営業損失は214,967千円（前年同期は3,264千円の営業利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,105,996千円となり、前連結会計年度末に比べ480,225千円減少いたしました。

流動資産は2,746,676千円となり、前連結会計年度末に比べ417,245千円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少121,961千円、受取手形及び売掛金の減少160,447千円、たな卸資産の減少121,129千円によるものであります。

固定資産は1,359,320千円となり、前連結会計年度末に比べ62,979千円減少いたしました。これは主に建物及び構築物の減少6,463千円、工具、器具及び備品の減少11,514千円、無形固定資産の減少37,118千円によるものであります。

流動負債は2,014,772千円となり、前連結会計年度末に比べ243,023千円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金の減少266,632千円、短期借入金の増加69,860千円、1年内返済予定の長期借入金の減少47,446千円によるものであります。

固定負債は864,777千円となり、前連結会計年度末に比べ236,234千円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少50,664千円、リース債務の増加12,507千円によるものであります。

純資産は1,226,446千円となり、前連結会計年度末に比べ200,010千円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少68,449千円、為替換算調整勘定の減少131,277千円によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ76,961千円減少し、595,639千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローの減少は170,599千円（前年同期は322,695千円の増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失69,220千円、仕入債務の減少303,614千円、売上債権の減少303,503千円、関係会社株式売却益292,615千円等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローの増加は120,366千円（前年同期は44,420千円の減少）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入80,000千円、有形固定資産の取得による支出61,634千円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入124,512千円等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローの減少は27,038千円（前年同期は178,710円の減少）となりました。これは主に短期借入れによる収入71,811千円、長期借入れによる収入100,000千円、長期借入金の返済による支出197,917千円等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等を考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成29年10月13日）に公表いたしました「特別損失の発生ならびに業績予想と実績値の差異および業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成29年3月1日付で、当社のエンジニアリング事業を簡易新設分割により新設会社の㈱東京衡機エンジニアリングに承継させ、実質的な持株会社体制へ移行いたしました。

なお、瀋陽特可思木芸製品有限公司につきましては、平成28年12月19日開催の当社取締役会および無錫三和塑料製品有限公司の董事会において、同社の全出資持分を中国の個人投資家に譲渡することを決議し、当該持分の引渡し手続きは平成29年3月2日に完了いたしました。

## 3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	728,600	606,639
受取手形及び売掛金	1,424,111	1,263,664
電子記録債権	71,323	22,125
商品及び製品	303,405	229,971
仕掛品	360,416	324,046
原材料及び貯蔵品	205,807	194,482
繰延税金資産	8,914	7,844
その他	150,206	206,316
貸倒引当金	△88,863	△108,414
流動資産合計	3,163,922	2,746,676
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	143,417	136,953
機械装置及び運搬具(純額)	146,941	146,333
工具、器具及び備品(純額)	76,010	64,496
土地	802,422	802,422
建設仮勘定	2,142	-
有形固定資産合計	1,170,934	1,150,206
無形固定資産		
借地権	8,606	6,454
のれん	60,539	57,322
その他	38,261	6,511
無形固定資産合計	107,407	70,288
投資その他の資産		
投資有価証券	12,469	12,439
保険積立金	13,713	14,193
繰延税金資産	60,290	63,799
破産更生債権等	201,543	198,921
その他	64,595	55,504
貸倒引当金	△208,654	△206,032
投資その他の資産合計	143,958	138,825
固定資産合計	1,422,299	1,359,320
資産合計	4,586,222	4,105,996

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,277,785	1,011,152
短期借入金	125,517	195,377
1年内返済予定の長期借入金	357,898	310,452
リース債務	-	3,015
未払法人税等	31,691	4,891
未払消費税等	35,068	12,441
未払金	112,569	176,687
未払費用	124,037	79,247
賞与引当金	54,877	58,677
繰延税金負債	62,457	2,241
その他	75,894	160,587
流動負債合計	2,257,795	2,014,772
固定負債		
長期借入金	369,203	318,539
リース債務	-	12,507
再評価に係る繰延税金負債	152,880	152,880
繰延税金負債	42	30
退職給付に係る負債	352,003	351,041
役員退職慰労引当金	7,296	11,624
その他	20,544	18,154
固定負債合計	901,969	864,777
負債合計	3,159,765	2,879,550
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,713,552	2,713,552
資本剰余金	200,233	200,233
利益剰余金	△1,983,503	△2,051,952
自己株式	△3,748	△3,752
株主資本合計	926,533	858,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	88	68
土地再評価差額金	346,323	346,323
為替換算調整勘定	152,467	21,190
その他の包括利益累計額合計	498,879	367,583
新株予約権	1,044	783
純資産合計	1,426,457	1,226,446
負債純資産合計	4,586,222	4,105,996

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
売上高	2,631,598	2,084,063
売上原価	1,872,403	1,633,243
売上総利益	759,195	450,819
販売費及び一般管理費	610,552	704,870
営業利益又は営業損失(△)	148,643	△254,050
営業外収益		
受取利息及び配当金	461	514
雑収入	2,734	2,173
営業外収益合計	3,196	2,688
営業外費用		
支払利息	9,948	9,218
為替差損	8,463	5,975
固定資産除却損	-	660
その他	3,990	11,901
営業外費用合計	22,401	27,755
経常利益又は経常損失(△)	129,437	△279,118
特別利益		
固定資産売却益	-	5,620
関係会社株式売却益	-	292,615
その他	-	261
特別利益合計	-	298,497
特別損失		
過年度決算訂正関連費用	-	75,851
その他	-	12,748
特別損失合計	-	88,599
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	129,437	△69,220
法人税、住民税及び事業税	49,917	5,057
法人税等調整額	△18,332	△5,828
法人税等合計	31,585	△770
四半期純利益又は四半期純損失(△)	97,852	△68,449
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	97,852	△68,449

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	97,852	△68,449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	△19
土地再評価差額金	8,362	-
為替換算調整勘定	△94,144	△131,277
その他の包括利益合計	△85,767	△131,296
四半期包括利益	12,084	△199,745
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,084	△199,745
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	129,437	△69,220
減価償却費	36,674	38,701
のれん償却額	3,216	3,216
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,562	3,800
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△141	△961
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	4,328
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,972	19,222
受取利息及び受取配当金	△461	△514
支払利息	12,186	9,218
為替差損益(△は益)	8,463	2,442
関係会社株式売却損益(△は益)	-	△292,615
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△5,620
固定資産除却損	-	660
過年度決算訂正関連費用	-	75,851
売上債権の増減額(△は増加)	111,711	303,503
たな卸資産の増減額(△は増加)	71,048	116,048
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,657	△303,614
未払又は未収消費税等の増減額	△15,675	△22,626
その他	43,878	3,526
小計	401,271	△114,653
利息及び配当金の受取額	461	514
利息の支払額	△11,168	△9,378
法人税等の支払額	△67,868	△26,699
法人税等の還付額	-	4,042
過年度決算訂正関連費用の支払額	-	△24,425
営業活動によるキャッシュ・フロー	322,695	△170,599
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△44,000	△35,000
定期預金の払戻による収入	44,000	80,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	124,512
有形固定資産の取得による支出	△47,953	△61,634
有形固定資産の売却による収入	-	12,776
貸付金の回収による収入	3,533	-
その他	-	△288
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,420	120,366

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	51,258	71,811
短期借入金の返済による支出	△101,453	-
長期借入れによる収入	117,060	100,000
長期借入金の返済による支出	△246,598	△197,917
リース債務の返済による支出	-	△928
新株予約権の発行による収入	1,044	-
自己株式の取得による支出	△21	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△178,710	△27,038
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,441	310
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	90,123	△76,961
現金及び現金同等物の期首残高	508,632	672,600
現金及び現金同等物の四半期末残高	598,755	595,639

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)

配当に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	試験機事業	エンジニア リング事業	海外事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,494,441	236,852	895,696	2,626,990	4,607	2,631,598	—	2,631,598
(2) セグメント間 の内部売上高	—	4,267	85,085	89,352	—	89,352	△89,352	—
計	1,494,441	241,120	980,782	2,716,343	4,607	2,720,951	△89,352	2,631,598
セグメント利益 又は損失(△)	274,439	41,489	3,264	319,192	△937	318,255	△169,611	148,643

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△169,611千円は基礎的試験研究費などに要した費用および当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年8月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	試験機事業	エンジニア リング事業	海外事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,218,687	217,017	643,750	2,079,455	4,607	2,084,063	—	2,084,063
(2) セグメント間 の内部売上高	—	—	72,329	72,329	—	72,329	△72,329	—
計	1,218,687	217,017	716,080	2,151,785	4,607	2,156,393	△72,329	2,084,063
セグメント利益 又は損失(△)	95,899	39,505	△214,967	△79,561	△3,944	△83,506	△170,543	△254,050

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△170,543千円は基礎的試験研究費などに要した費用および当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。